



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔 I F R S 〕（連結）

2025年8月13日

上場会社名 株式会社ネクソン 上場取引所 東
コード番号 3659 URL <https://www.nexon.co.jp/ir/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）李 政憲
問合せ先責任者 （役職名）代表取締役最高財務責任者 （氏名）植村 士朗 （TEL）03-6629-5318
半期報告書提出予定日 2025年8月13日 配当支払開始予定日 2025年9月25日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 （機関投資家、アナリスト及びメディア向けオンライン決算説明会）
（百万円未満四捨五入）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する 中間利益		中間包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	232,784	0.8	79,309	6.6	67,545	△41.6	42,206	△44.0	43,030	△43.2	86,687	△42.2
2024年12月期中間期	230,892	5.7	74,370	△11.3	115,673	0.8	75,339	△3.1	75,796	△2.0	149,871	11.7

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	53.04	52.93
2024年12月期中間期	90.44	90.06

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	1,275,121	1,052,042	1,041,793	81.7
2024年12月期	1,256,771	1,030,525	1,019,013	81.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	7.50	—	15.00	22.50
2025年12月期	—	15.00			
2025年12月期（予想）			—	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年12月期の中間配当につきましては、本日公表の「剰余金の中間配当に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2025年12月期第3四半期（累計）の連結業績予想（2025年1月1日～2025年9月30日）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		基本的1株当たり 四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期（累計）	349,351	△4.7	112,039	△11.0	104,200	△32.6	68,293	△34.4	69,429	△32.5	85.96
	359,898	△1.8	120,463	△4.3	112,624	△27.1	74,678	△28.2	75,814	△26.3	93.86

（注）2025年12月期の連結業績予想については、現時点で通期の合理的な業績予想の算定が困難であるため、第3四半期（累計）の業績予想のみを開示しております。また、特定の数値による予想が困難であるためレンジ形式での開示を行っております。詳細は、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① I F R Sにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期中間期	823,403,516株	2024年12月期	842,443,413株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	24,152,069株	2024年12月期	19,450,212株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年12月期中間期	811,305,202株	2024年12月期中間期	838,090,620株

(注) 期末自己株式数には、当社の連結子会社であるStiftelsen Embark Incentive及びNEXON Employee Benefit Trustが保有する当社株式が含まれております（2025年12月期中間期1,684,969株、2024年12月期2,491,629株）。また、当該連結子会社が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております（2025年12月期中間期2,259,052株、2024年12月期中間期1,270,500株）。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断できる一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間連結会計期間の経営成績の概況	2
(2) 当中間連結会計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約中間連結財政状態計算書	7
(2) 要約中間連結損益計算書	9
(3) 要約中間連結包括利益計算書	11
(4) 要約中間連結持分変動計算書	13
(5) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	14
(6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	16
(継続企業の前提に関する注記)	16
(セグメント情報の注記)	16
(重要な後発事象)	23

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間連結会計期間の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、持ち直しが緩やかになっており、一部の地域において足跡がみられるほか、関税率引上げに伴う駆け込み需要やその反動の影響、不透明感がみられます。

先行きについては、通商政策による影響の広がりから、持ち直しの動きが弱まる可能性があり、今後の通商政策など米国の政策動向による影響等による下振れリスクや金融資本市場の変動の影響等に留意する必要があります。

このような状況の中、当社グループは、ライブ運用を基盤とし、IP成長戦略に沿った組織再編を行っております。これにより主要IPを著しく成長させるとともに、新たな大ヒット作の開発を進めてまいります。新たに策定したIP成長戦略は、垂直及び水平方向の成長で構成される戦略です。垂直方向の成長とは、『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)や『メイプルストーリー』(MapleStory)などの大ヒットフランチャイズを新しいコンテンツ、プラットフォーム、地域を通じて提供し、再活性化及び拡張することで成長させる戦略です。この戦略の重要な要素として、市場間の文化的違いを認識し、各地域のプレイヤーの好みに合わせてコンテンツをカスタマイズするハイパー・ローカライゼーションが含まれます。また、水平方向の成長とは、『マビノギ』(Mabinogi)など、当社グループのその他のゲームフランチャイズ、また『ARC Raiders』など開発中の新作から新たな大ヒット作を創出することを目的とした戦略です。

当中間連結会計期間においては、前年同期に中国で配信を開始し爆発的な人気を博した『アラド戦記モバイル』(Dungeon&Fighter Mobile)が前年同期比で減収となったものの、主力タイトルであるPC版『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)及び『メイプルストーリー』(MapleStory)の再活性化に加え、3月に配信を開始した『マビノギモバイル』(MABINOGI MOBILE)や『The First Berserker: Khazan』の貢献及びサービス地域を拡大した『MapleStory Worlds』の増収により、売上収益は前年同期比で増加いたしました。主要フランチャイズ別の売上収益は、以下のとおりです。

『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)においては、PC版『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)の成長及び『The First Berserker: Khazan』の増収寄与の一方で、フランチャイズ全体の売上収益は『アラド戦記モバイル』(Dungeon&Fighter Mobile)を中国でローンチした前年同期との比較で減少いたしました。韓国のPC版『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)では、MAU及び課金ユーザー数を前年同期比でほぼ倍増させることに成功し、売上収益は前年同期比で2倍超に成長いたしました。中国では、当中間連結会計期間において労働節アップデートや周年アップデートが好評を博し、6月にはMAU及び課金ユーザー数が今年最高水準まで上昇するなど、業績回復が着実に進みました。

『メイプルストーリー』(MapleStory)においては、韓国のPC版の好調な業績及び『MapleStory Worlds』の地域展開により、フランチャイズ全体の売上収益は前年同期比で成長いたしました。韓国の『メイプルストーリー』(MapleStory)では、6月の夏季アップデートがアクティブプレイヤー数を大幅に増加させ、PCカフェでの占有率が過去最高を記録いたしました。また、『MapleStory Worlds』では、4月に中国や日本を除くアジア地域へサービスを拡大し、特に台湾において好評を博しました。これらの成功により、売上収益は前年同期比で大幅に増加いたしました。

『EA SPORTS FC™ ONLINE』は、当中間連結会計期間においては前年同期比で減収となったものの、当第2四半期連結会計期間においては、7周年コンテンツアップデートにより、前年同期比だけでなく弱い季節性にもかかわらず前四半期比でも売上収益が成長いたしました。

その他の主要タイトルでは、3月27日に韓国で配信を開始した『マビノギモバイル』(MABINOGI MOBILE)においてバトル中心の従来のMMORPGとは異なり、生活要素に焦点を当てた平和的なゲーム性がプレイヤーから好評を得ました。3月の配信開始以降、MAU、課金ユーザー数、ARPPUいずれの指標においても好調を維持し、業績に大きく貢献いたしました。

費用面では、業績連動賞与の減少により人件費が減少したものの、『マビノギモバイル』(MABINOGI MOBILE)によるロイヤリティ費用の増加及び『MapleStory Worlds』のクリエイター報酬の増加により、売上原価は前年同期比で増加いたしました。販売費及び一般管理費は、主に従業員数の増加に伴う研究開発費の増加やプラットフォーム利用料の増加により、前年同期比で増加いたしました。その他の費用は、前年同期にのれんの減損損失を計上した影響で減少いたしました。また、前年同期においては為替差益が発生しておりましたが、当中間連結会計期間では為替差損を認識した結果、税引前中間利益及び親会社の所有者に帰属する中間利益は前年同期比で減少いたしました。

上記の結果、当中間連結会計期間の売上収益は232,784百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は79,309百万円(同6.6%増)、税引前中間利益は67,545百万円(同41.6%減)、親会社の所有者に帰属する中間利益は43,030百万円(同43.2%減)となっております。

報告セグメントの当中間連結会計期間の業績は、次のとおりです。

① 日本

当中間連結会計期間の売上収益は2,679百万円(前年同期比7.6%減)、セグメント損失は1,844百万円(前年同期は1,386百万円の損失)となりました。

② 韓国

当中間連結会計期間の売上収益は212,085百万円(前年同期比0.1%減)、セグメント利益は83,746百万円(同5.2%減)となりました。韓国セグメントの売上収益には、子会社であるNEXON Korea Corporationの傘下にあるNEOPLE INC. の中国におけるライセンス供与に係るロイヤリティ収益が含まれます。

③ 中国

当中間連結会計期間の売上収益は815百万円(前年同期比56.3%減)、セグメント損失は112百万円(前年同期は861百万円の利益)となりました。

④ 北米

当中間連結会計期間の売上収益は14,078百万円(前年同期比45.3%増)、セグメント利益は1,144百万円(前年同期は2,193百万円の損失)となりました。

⑤ その他

当中間連結会計期間の売上収益は3,127百万円(前年同期比24.6%減)、セグメント損失は4,956百万円(前年同期は4,654百万円の損失)となりました。

(2) 当中間連結会計期間の財政状態の概況

① 資産、負債及び資本の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は1,275,121百万円であり、前連結会計年度末に比べて18,350百万円増加しております。主な増加要因は、その他の金融資産の増加(前期末比61,000百万円増)及び現金及び現金同等物の増加(同54,435百万円増)によるものであり、主な減少要因は、その他の預金の減少(同58,830百万円減)、営業債権及びその他の債権の減少(同23,988百万円減)及び繰延税金資産の減少(同18,710百万円減)によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は223,079百万円であり、前連結会計年度末に比べて3,167百万円減少しております。主な減少要因は、リース負債の減少(前期末比1,547百万円減)及び引当金の減少(同14,661百万円減)によるものであり、主な増加要因は、仕入債務及びその他の債務の増加(同8,518百万円増)及びその他の流動負債の増加(同1,903百万円増)によるものであります。

(資本)

当中間連結会計期間末における資本の残高は1,052,042百万円であり、前連結会計年度末に比べて21,517百万円増加しております。主な増加要因は、親会社の所有者に帰属する中間利益計上に伴う利益剰余金の増加(前期末比43,030百万円増)及びその他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の計上等によるその他の資本の構成要素の増加(同44,220百万円増)によるものであり、主な減少要因は、自己株式の取得による減少(同56,188百万円減)であります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は81.7%(前連結会計年度末は81.1%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ54,435百万円増加し、386,366百万円となりました。当該増加には資金に係る為替変動による減少の影響△12,513百万円が含まれております。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は88,059百万円(前年同期は34,309百万円の収入)となりました。主な増加要因は、税引前中間利益67,545百万円及び営業債権及びその他の債権の減少額23,865百万円によるものであり、主な減少要因は、法人所得税の支払額25,457百万円によるものであります。

前年同期と比べて、営業債権及びその他の債権が減少したことにより、営業活動による収入が増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は49,734百万円(前年同期は67,856百万円の支出)となりました。主な収入要因は、定期預金の純減少額60,648百万円であり、主な支出要因は、持分法で会計処理されている投資の取得による支出8,319百万円によるものであります。

前年同期と比べて、定期預金への預け入れが減少したことにより、投資活動による支出が減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は70,845百万円(前年同期は32,421百万円の支出)となりました。主な支出要因は、自己株式の取得による支出56,188百万円によるものであります。

前年同期と比べて、自己株式の取得による支出が増加したことにより、財務活動による支出が増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当社グループの主力事業であるPCオンラインゲーム及びモバイルゲーム市場は、成長速度を予測することが難しく、ユーザーの嗜好や人気タイトルの有無などの不確定要素に収益が大きく左右されることから、通期の連結業績予想を算出することが困難であり、株主と投資家の皆様により正確な情報を提供するために、翌四半期の業績予想をレンジ形式により開示させていただいております。なお、「2025年12月期第3四半期(累計)の連結業績予想」は2025年12月期第2四半期(中間期)の実績値に第3四半期連結会計期間の連結業績予想を加算したものとなっております。2025年12月期第3四半期連結会計期間の業績予想については、下表をご参照ください。

当社グループにおける2025年12月期第3四半期連結累計期間の連結業績予想は、売上収益349,351～359,898百万円(前年同期比4.7%～1.8%減)、営業利益112,039～120,463百万円(同11.0%～4.3%減)、税引前利益104,200～112,624百万円(同32.6%～27.1%減)、四半期利益68,293～74,678百万円(同34.4%～28.2%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益69,429～75,814百万円(同32.5%～26.3%減)、基本的1株当たり四半期利益85.96～93.86円となっております。当社グループは、日本、韓国、中国、米国をはじめとして、世界中で事業を運営しております。第3四半期連結会計期間の取引における主要な為替レートは1ドル＝146.74円、100ウォン＝10.68円、1中国元＝20.49円と想定しております。一般に韓国ウォンも中国人民元も米国ドルと連動して為替は推移します。このことを前提とし、為替レートの当社グループ業績への影響度に関して、当社が想定するドル円の為替レートに対して1円為替が変動した場合、第3四半期連結会計期間は売上収益が約825百万円、営業利益が約230百万円変動するものと当社では推定しております。

第3四半期連結会計期間の売上収益は、『アラド戦記モバイル』(Dungeon&Fighter Mobile)の中国におけるローンチ及び『The First Descendant』のグローバルリリースがともに爆発的な人気を博した前年同期との比較で減少することを予想しております。一方で、主力タイトルであるPC版『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)や『メイプルストーリー』(MapleStory)の2桁成長に加え、『マビノギモバイル』(MABINO GI MOBILE)や『MapleStory Worlds』の好調な業績を見込んでおります。フランチャイズ別の予想は以下の通りです。

『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)においては、前年同期比でフランチャイズ全体の合計売上収益が減少することを予想しております。『アラド戦記モバイル』(Dungeon&Fighter Mobile)は7月のレベルキャップ開放に始まる第3四半期連結会計期間の一連の大型アップデートにより、売上収益は前四半期比でやや増加することを見込んでおります。PC版『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)は、中国及び韓国ともに前年同期比で力強い成長を見込むものの、売上収益が前四半期比で減少することを予想しております。

『メイプルストーリー』(MapleStory)では、フランチャイズ全体の売上収益が前年同期比で増加することを予想しております。韓国のPC版においては、夏季アップデートの好調により、売上収益が前年同期比で2倍超に増加することを見込んでおります。『MapleStory Worlds』は、第2四半期連結会計期間からの好調な勢いを持続し、第3四半期連結会計期間においても前年同期比で大幅な増収となることを見込んでおります。

『EA SPORTS FC™ ONLINE』及び『EA SPORTS FC™ MOBILE』の合計売上収益は、シーズン最優秀チーム「Team Of The Season」やレジェンドプレイヤーによるエキシビジョンマッチ等の大型イベントにより、プレイヤーエンゲージメントを維持し、前年同期比及び前四半期比ともにおよそ横ばいとなることを予想しております。

その他の主要タイトルにおいては、『マビノギモバイル』(MABINO GI MOBILE)がローンチ直後の勢いが徐々に落ち着くことを見込むものの、第3四半期連結会計期間においても大きく増収寄与することを予想しております。

第3四半期連結会計期間における費用面では、前年同期比で『マビノギモバイル』(MABINO GI MOBILE)によるロイヤリティ費用及びプラットフォーム利用料の増加を見込んでおります。また、『マビノギモバイル』(MABINO GI MOBILE)、『ARC Raiders』やFCフランチャイズ及びメイプルストーリーフランチャイズに係る広告宣伝費の増加を見込んでおります。加えて、『MapleStory Worlds』の増収に伴うクリエイター報酬の増加を見込んでおります。一方で、業績連動賞与の減少に伴い人件費の減少を予想しております。

また、第3四半期連結会計期間において、子会社であるファンドを清算することに伴い40億円の清算益を見込んでおります。

業績見通しについては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいるため、実績値は業況の変化などにより予想数値と異なる可能性があります。

(参考)

2025年12月期第3四半期の連結業績予想(2025年7月1日～2025年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する 四半期利益		基本的1株当 たり四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第3四半期	116,567	△14.0	32,730	△36.5	36,655	△5.8	26,087	△9.1	26,398	△2.3	33.02
	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～
	127,114	△6.3	41,154	△20.1	45,079	15.9	32,472	13.2	32,783	21.3	41.01

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	331,931	386,366
営業債権及びその他の債権	88,717	64,729
その他の預金	268,934	210,104
その他の金融資産	49,471	44,986
その他の流動資産	13,220	11,815
流動資産合計	752,273	718,000
非流動資産		
有形固定資産	28,365	28,519
のれん	44,567	45,995
無形資産	34,815	35,474
使用権資産	34,998	34,106
持分法で会計処理されている投資	63,669	65,642
その他の金融資産	268,310	333,795
その他の非流動資産	1,130	3,656
繰延税金資産	28,644	9,934
非流動資産合計	504,498	557,121
資産合計	1,256,771	1,275,121

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	15,651	24,169
繰延収益	23,861	24,775
未払法人所得税	19,103	18,426
リース負債	7,120	7,239
その他の金融負債	—	2,487
引当金	28,232	13,550
その他の流動負債	13,695	15,598
流動負債合計	107,662	106,244
非流動負債		
繰延収益	14,641	15,099
リース負債	32,878	31,212
その他の金融負債	1,089	305
引当金	598	619
その他の非流動負債	9,992	10,114
繰延税金負債	59,386	59,486
非流動負債合計	118,584	116,835
負債合計	226,246	223,079
資本		
資本金	50,797	52,069
資本剰余金	30,079	31,071
自己株式	△49,158	△53,523
その他の資本の構成要素	207,098	251,318
利益剰余金	780,197	760,858
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,019,013	1,041,793
非支配持分	11,512	10,249
資本合計	1,030,525	1,052,042
負債及び資本合計	1,256,771	1,275,121

(2) 要約中間連結損益計算書

【中間連結会計期間】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上収益	230,892	232,784
売上原価	△84,744	△86,469
売上総利益	146,148	146,315
販売費及び一般管理費	△65,145	△68,338
その他の収益	494	1,702
その他の費用	△7,127	△370
営業利益	74,370	79,309
金融収益	45,005	14,032
金融費用	△1,126	△22,945
再評価による損失の戻入	692	—
持分法による投資損失	△3,268	△372
持分法による投資の減損損失	—	△2,479
税引前中間利益	115,673	67,545
法人所得税費用	△40,334	△25,339
中間利益	75,339	42,206
中間利益の帰属		
親会社の所有者	75,796	43,030
非支配持分	△457	△824
中間利益	75,339	42,206
1株当たり中間利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり中間利益	90.44円	53.04円
希薄化後1株当たり中間利益	90.06円	52.93円

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上収益	122,474	118,850
売上原価	△44,187	△47,225
売上総利益	78,287	71,625
販売費及び一般管理費	△32,422	△35,173
その他の収益	295	1,452
その他の費用	△936	△206
営業利益	45,224	37,698
金融収益	19,325	9,110
金融費用	△608	△18,257
持分法による投資損益(△は損失)	△2,507	1,128
持分法による投資の減損損失	—	△835
税引前四半期利益	61,434	28,844
法人所得税費用	△22,046	△12,961
四半期利益	39,388	15,883
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	39,878	16,758
非支配持分	△490	△875
四半期利益	39,388	15,883
1 株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益	47.66円	20.82円
希薄化後1株当たり四半期利益	47.49円	20.77円

(3) 要約中間連結包括利益計算書

【中間連結会計期間】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間利益	75,339	42,206
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	27,075	70,542
確定給付型年金制度の再測定額	△5	1
無形資産再評価益	6,452	1,198
持分法によるその他の包括利益	840	2,319
法人所得税	△9,924	△19,011
純損益に振替えられることのない 項目合計	24,438	55,049
純損益にその後に振替えられる可能性の ある項目		
在外営業活動体の換算差額	50,094	△10,568
純損益にその後に振替えられる可能性 のある項目合計	50,094	△10,568
その他の包括利益合計	74,532	44,481
中間包括利益	149,871	86,687
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	149,777	87,661
非支配持分	94	△974
中間包括利益	149,871	86,687

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期利益	39,388	15,883
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	13,061	36,855
確定給付型年金制度の再測定額	△3	△5
無形資産再評価益	△585	5,165
持分法によるその他の包括利益	45	△98
法人所得税	△3,216	△10,947
純損益に振替えられることのない 項目合計	9,302	30,970
純損益にその後に振替えられる可能性の ある項目		
在外営業活動体の換算差額	33,051	31,827
純損益にその後に振替えられる可能性 のある項目合計	33,051	31,827
その他の包括利益合計	42,353	62,797
四半期包括利益	81,741	78,680
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	81,872	79,071
非支配持分	△131	△391
四半期包括利益	81,741	78,680

(4) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	利益 剰余金	合計		
資本(期首)	47,510	26,719	△45,046	159,857	707,227	896,267	10,308	906,575
中間利益	—	—	—	—	75,796	75,796	△457	75,339
その他の包括利益	—	—	—	73,981	—	73,981	551	74,532
中間包括利益合計	—	—	—	73,981	75,796	149,777	94	149,871
新株の発行	1,622	1,622	—	—	—	3,244	—	3,244
新株発行費用	—	△13	—	—	—	△13	—	△13
配当金	—	—	—	—	△4,214	△4,214	—	△4,214
株式に基づく報酬取引	—	—	—	684	—	684	—	684
新株予約権の失効	—	—	—	△10	8	△2	2	—
支配継続子会社に対する 持分変動	—	71	—	—	—	71	74	145
自己株式の取得	—	△7	△28,332	—	—	△28,339	—	△28,339
自己株式の処分	—	2	7	—	—	9	—	9
自己株式の消却	—	—	50,000	—	△50,000	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	1,463	△1,463	—	—	—
所有者との取引額等合計	1,622	1,675	21,675	2,137	△55,669	△28,560	76	△28,484
資本(期末)	49,132	28,394	△23,371	235,975	727,354	1,017,484	10,478	1,027,962

当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	利益 剰余金	合計		
資本(期首)	50,797	30,079	△49,158	207,098	780,197	1,019,013	11,512	1,030,525
中間利益	—	—	—	—	43,030	43,030	△824	42,206
その他の包括利益	—	—	—	44,631	—	44,631	△150	44,481
中間包括利益合計	—	—	—	44,631	43,030	87,661	△974	86,687
新株の発行	1,272	1,272	—	—	—	2,544	—	2,544
新株発行費用	—	△6	—	—	—	△6	—	△6
配当金	—	—	—	—	△12,382	△12,382	—	△12,382
株式に基づく報酬取引	—	—	—	△390	—	△390	—	△390
新株予約権の失効	—	—	—	△21	13	△8	8	—
支配継続子会社に対する 持分変動	—	△242	—	—	—	△242	△297	△539
自己株式の取得	—	△31	△56,157	—	—	△56,188	—	△56,188
自己株式の処分	—	△1	1,792	—	—	1,791	—	1,791
自己株式の消却	—	—	50,000	—	△50,000	—	—	—
所有者との取引額等合計	1,272	992	△4,365	△411	△62,369	△64,881	△289	△65,170
資本(期末)	52,069	31,071	△53,523	251,318	760,858	1,041,793	10,249	1,052,042

(5) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	115,673	67,545
減価償却費及び償却費	4,896	5,542
株式報酬費用	1,720	3,717
受取利息及び受取配当金	△12,724	△11,860
支払利息	988	1,038
減損損失	6,375	239
再評価による損益(△は益)	△692	—
持分法による投資損益(△は益)	3,268	372
持分法による投資の減損損失	—	2,479
持分法で会計処理されている投資の売却損益(△は益)	—	41
有価証券評価損益(△は益)	△6,667	△1,158
有価証券売却及び償還損益(△は益)	△778	△803
為替差損益(△は益)	△13,804	13,200
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△41,718	23,865
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,616	344
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	2,652	8,776
繰延収益の増減額(△は減少)	△1,441	1,383
引当金の増減額(△は減少)	2,382	△14,101
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△2,795	4,596
損失評価引当金の増減額(△は減少)	△5,780	18
その他	△1,201	△2,565
小計	47,738	102,668
利息の受取額	9,137	9,120
配当金の受取額	2,620	2,757
利息の支払額	△984	△1,029
法人所得税の支払額	△24,202	△25,457
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,309	88,059
投資活動によるキャッシュ・フロー		
拘束性預金の純増減額(△は増加)	△6,925	△830
定期預金の純増減額(△は増加)	△46,188	60,648
有形固定資産の取得による支出	△1,810	△2,317
有形固定資産の売却による収入	53	22
無形資産の取得による支出	△1,164	△818
長期前払費用の増加を伴う支出	△743	△2,443
連結子会社である投資ファンドを通じた有価証券の取得による支出	△5,678	△7,275
連結子会社である投資ファンドを通じた有価証券の売却による収入	7,416	12,824
有価証券の取得による支出	△8,910	△2,384
有価証券の売却及び償還による収入	878	1,038
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△2,016	△8,319
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	—	13
短期貸付金の貸付による支出	△1,468	△41
長期貸付金の貸付による支出	△908	△954
長期貸付金の回収による収入	7	6
その他	△400	564
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,856	49,734

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ストック・オプションの行使による収入	2,269	823
自己株式の取得による支出	△28,339	△56,188
子会社の自己株式の取得による支出	—	△538
配当金の支払額	△4,214	△12,382
リース負債の返済による支出	△2,146	△2,568
その他	9	8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,421	△70,845
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△65,968	66,948
現金及び現金同等物の期首残高	280,515	331,931
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	15,475	△12,513
現金及び現金同等物の中間期末残高	230,022	386,366

(6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報の注記)

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、PCオンラインゲーム及びモバイルゲームの制作・開発、配信を行っており、取扱う商品・サービスについて国内においては当社、海外においては現地連結子会社が、それぞれ独立した経営単位として各地域における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、PCオンラインゲーム及びモバイルゲームの制作・開発、配信を基礎とした各社の所在地別の事業セグメントから構成されております。なお、当社グループは、所在地ごとの各子会社における事業の特性などから、為替の変動が業績に与える影響が類似しており、かつその影響の業績に占める割合も大きいことから、各社の所在地別に事業セグメントを集約することで、報告セグメントを作成しております。報告セグメントは「日本」、「韓国」、「中国」、「北米」及び「その他」の5つとしており、「その他」の区分には欧州及びアジア諸国が含まれております。

また、当社グループは、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。これにより、当社グループは、顧客との契約から生じる収益を顧客との契約に基づき、PCオンライン、モバイル及びその他に収益を分解表示しております。

② 報告セグメントの収益及び損益

当社グループのセグメント情報は次のとおりです。

(中間連結会計期間)

前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益								
PCオンライン	2,387	120,043	1,861	6,935	4,142	135,368	—	135,368
モバイル	503	91,459	—	2,752	—	94,714	—	94,714
その他	9	788	—	6	7	810	—	810
外部収益 計	2,899	212,290	1,861	9,693	4,149	230,892	—	230,892
セグメント間収益	641	3,689	—	681	949	5,960	△5,960	—
計	3,540	215,979	1,861	10,374	5,098	236,852	△5,960	230,892
セグメント利益又は損失 (注1)	△1,386	88,356	861	△2,193	△4,654	80,984	19	81,003
その他の収益・費用 (純額)								△6,633
営業利益								74,370
金融収益・費用(純額) (注5)								43,879
再評価による損失の戻入 (注6)								692
持分法による投資損失								△3,268
税引前中間利益								115,673

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。
2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。
3. セグメント利益又は損失の調整額19百万円は、セグメント間取引消去です。
4. PCオンライン及びモバイルについては、主に役務に対する支配が一定期間にわたり移転するため、一定の期間にわたり履行義務を充足し収益を認識しております。
5. 金融収益の主な内訳は、為替差益18,879百万円及び持分法適用会社の連結子会社化により認識した、同社への貸付金及び未収利息に係る損失評価引当金戻入益5,663百万円です。
6. 無形資産(取引所を通じて行った暗号資産に対する投資)の再評価により、純損益に認識された再評価による損失の戻入です。

当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益								
PCオンライン	2,293	144,041	815	10,907	3,115	161,171	—	161,171
モバイル	386	67,246	—	3,074	—	70,706	—	70,706
その他	0	798	—	97	12	907	—	907
外部収益 計	2,679	212,085	815	14,078	3,127	232,784	—	232,784
セグメント間収益	488	5,497	—	882	1,464	8,331	△8,331	—
計	3,167	217,582	815	14,960	4,591	241,115	△8,331	232,784
セグメント利益又は損失 (注1)	△1,844	83,746	△112	1,144	△4,956	77,978	△1	77,977
その他の収益・費用 (純額)								1,332
営業利益								79,309
金融収益・費用(純額) (注5)								△8,913
持分法による投資損失								△372
持分法による投資の減損 損失								△2,479
税引前中間利益								67,545

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。
2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。
3. セグメント利益又は損失の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去です。
4. PCオンライン及びモバイルについては、主に役務に対する支配が一定期間にわたり移転するため、一定の期間にわたり履行義務を充足し収益を認識しております。
5. 金融費用の主な内訳は、為替差損21,626百万円です。

(第2四半期連結会計期間)

前第2四半期連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益								
PCオンライン	1,100	50,653	549	2,859	1,319	56,480	—	56,480
モバイル	249	64,245	—	1,099	—	65,593	—	65,593
その他	8	390	—	3	—	401	—	401
外部収益 計	1,357	115,288	549	3,961	1,319	122,474	—	122,474
セグメント間収益	440	1,793	—	333	462	3,028	△3,028	—
計	1,797	117,081	549	4,294	1,781	125,502	△3,028	122,474
セグメント利益又は損失 (注1)	△601	49,556	53	△1,002	△2,145	45,861	4	45,865
その他の収益・費用 (純額)								△641
営業利益								45,224
金融収益・費用(純額) (注5)								18,717
持分法による投資損失								△2,507
税引前四半期利益								61,434

(注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。

3. セグメント利益又は損失の調整額4百万円は、セグメント間取引消去です。

4. PCオンライン及びモバイルについては、主に役員に対する支配が一定期間にわたり移転するため、一定の期間にわたり履行義務を充足し収益を認識しております。

5. 金融収益の主な内訳は、為替差益8,226百万円です。

当第2四半期連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益								
PCオンライン	966	74,675	378	6,306	1,658	83,983	—	83,983
モバイル	128	31,911	—	2,329	—	34,368	—	34,368
その他	0	399	—	88	12	499	—	499
外部収益 計	1,094	106,985	378	8,723	1,670	118,850	—	118,850
セグメント間収益	255	2,528	—	527	969	4,279	△4,279	—
計	1,349	109,513	378	9,250	2,639	123,129	△4,279	118,850
セグメント利益又は損失 (注1)	△1,179	39,344	△126	1,258	△2,830	36,467	△15	36,452
その他の収益・費用 (純額)								1,246
営業利益								37,698
金融収益・費用(純額) (注5)								△9,147
持分法による投資利益								1,128
持分法による投資の減損 損失								△835
税引前四半期利益								28,844

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。
2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。
3. セグメント利益又は損失の調整額△15百万円は、セグメント間取引消去です。
4. PCオンライン及びモバイルについては、主に役務に対する支配が一定期間にわたり移転するため、一定の期間にわたり履行義務を充足し収益を認識しております。
5. 金融費用の主な内訳は、為替差損17,471百万円です。

③ 地域ごとの情報

外部顧客からの売上収益は、次のとおりです。

(中間連結会計期間)

前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

	事業別の売上収益			合計
	PCオンライン	モバイル	その他	
	百万円	百万円	百万円	百万円
主な地域市場				
日本	3,166	4,980	40	8,186
韓国	76,346	29,143	721	106,210
中国	38,866	46,652	4	85,522
北米及び欧州	8,981	7,970	12	16,963
その他	8,009	5,969	33	14,011
合計	135,368	94,714	810	230,892

- (注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
 2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
 3. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米及び欧州：米国、カナダ及び欧州
 (2) その他：中南米及びアジア諸国

当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

	事業別の売上収益			合計
	PCオンライン	モバイル	その他	
	百万円	百万円	百万円	百万円
主な地域市場				
日本	3,607	3,320	25	6,952
韓国	94,765	29,688	805	125,258
中国	36,327	28,105	19	64,451
北米及び欧州	17,047	3,249	17	20,313
その他	9,425	6,344	41	15,810
合計	161,171	70,706	907	232,784

- (注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
 2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
 3. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米及び欧州：米国、カナダ及び欧州
 (2) その他：中南米及びアジア諸国

(第2四半期連結会計期間)

前第2四半期連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

	事業別の売上収益			合計
	PCオンライン	モバイル	その他	
	百万円	百万円	百万円	百万円
主な地域市場				
日本	1,766	2,763	27	4,556
韓国	35,760	12,762	348	48,870
中国	12,150	44,186	4	56,340
北米及び欧州	3,692	3,347	5	7,044
その他	3,112	2,535	17	5,664
合計	56,480	65,593	401	122,474

- (注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
 2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
 3. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米及び欧州：米国、カナダ及び欧州
 (2) その他：中南米及びアジア諸国

当第2四半期連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

	事業別の売上収益			合計
	PCオンライン	モバイル	その他	
	百万円	百万円	百万円	百万円
主な地域市場				
日本	1,582	1,380	21	2,983
韓国	52,624	17,958	424	71,006
中国	16,818	10,039	14	26,871
北米及び欧州	8,216	1,227	14	9,457
その他	4,743	3,764	26	8,533
合計	83,983	34,368	499	118,850

- (注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
 2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
 3. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米及び欧州：米国、カナダ及び欧州
 (2) その他：中南米及びアジア諸国

(重要な後発事象)

自己株式の取得

当社は、2025年8月13日の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

① 自己株式の取得を行う理由

資本効率の向上と資本政策の柔軟性を確保するため。

② 取得に係る事項の内容

(a) 取得する株式の種類	当社普通株式
(b) 取得し得る株式の総数	11,000,000株(上限) (2025年7月31日現在の発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.4%)
(c) 株式の取得価額の総額	25,000百万円(上限)
(d) 取得期間	2025年8月14日～2025年10月31日
(e) 取得方法	東京証券取引所における市場買付